

日中の交流拡大さらに

中国国歌の作曲者 聶耳氏生誕100周年祝う

神奈川県藤沢市で16、17日の両日、中国国歌「義勇軍行進曲」の作曲者として知られる聶耳氏の生誕100周年を祝賀する記念行事が盛大に開催された。これには、公明党の渡辺均県議と市議会公明党の各議員も出席。聶耳氏の遺徳をしのび、さらなる日中の友好と交流拡大に向けて力を尽くすことを誓い合った。

神奈川・藤沢市



碑前祭で汪駐日大使夫人(中央)と親交を深める渡辺県議(左端)と藤沢市議会公明党のメンバー

聶耳氏は1912年2月、藤沢市と友好都市の雲南省昆明市に生まれた。上海で劇団の

記念碑(終えんの地・鵠沼に建立)を保存・整備 程大使「市民の活動に心から感謝」

バイオリン奏者や映画音楽の作曲を手掛けるなど、主に映画や舞台劇の音楽分野で大きく



記念式典で祝辞を述べる程駐日大使

足跡を残し、「義勇軍行進曲」を作曲した35年に来日。同年7月、藤沢市の鵠沼海岸で遊泳中に帰らぬ人となったが、彼の「義勇軍行進曲」は中華人民共和国が建国(49年)されると、国歌に採用された。

一方、23歳という若さで生涯を終えた聶耳氏の死を悼んだ藤沢市民の有志が54年、鵠沼海岸に記念碑を建立。その後、台風で流出した記念碑を市民らでつくる「聶耳記念碑保存会」が65年に再建。市の協力を得ながら周辺

り組んできた。今回の記念行事は保存会が主催したもので、市と中国駐日大使館が後援。このうち、16日に藤沢市民会館で開かれた記念式典に

は、中国の程永華駐日大使が来賓として出席し、祝辞を述べた。この中で、程大使は「聶耳先生の作品は、いわば中国の民族の精神的な財産になったと考えている」と強調。その上で、「多くの藤沢市民の皆さまが記念碑の保存活動を続けてきたことに心から感謝します」と謝意を表し、両国の発展と繁栄につながる取り組みに期待を寄せた。

聶耳氏の命日に当たる翌17日には、記念碑がある鵠沼海岸の記念広場で碑前祭を開催。保存会の一員でもある渡辺県議と市議会公明党の各議員はそれぞれ、記念碑の前に立つて献花するとともに、参列していた汪駐日大使夫人らと和やかに懇談した。

程大使は、中国の程永華駐日大使が来賓として出席し、祝辞を述べた。この中で、程大使は「聶耳先生の作品は、いわば中国の民族の精神的な財産になったと考えている」と強調。その上で、「多くの藤沢市民の皆さまが記念碑の保存活動を続けてきたことに心から感謝します」と謝意を表し、両国の発展と繁栄につながる取り組みに期待を寄せた。

程大使は、中国の程永華駐日大使が来賓として出席し、祝辞を述べた。この中で、程大使は「聶耳先生の作品は、いわば中国の民族の精神的な財産になったと考えている」と強調。その上で、「多くの藤沢市民の皆さまが記念碑の保存活動を続けてきたことに心から感謝します」と謝意を表し、両国の発展と繁栄につながる取り組みに期待を寄せた。

公明も推進

日中の友好と交流拡大を推進してきた市議会公明党の塚本昌紀議員らは、聶耳氏の功績を宣揚する立場から、議会の場で記念広場の拡充などを一貫して訴えてきた。その結果、中国語の解説がなかった広場に2010年12月、聶耳氏の略歴や生涯、保存会の活動を刻んだ石碑の設置などが実現。また、党県議団も今年の第2回定例会で、記念広場に隣接する駐車場の拡充や屋根がある休憩施設の整備など、市と連携して取り組むよう黒岩祐治知事に強く求めた。